

藤川の里だより

第116号



藤川の里の菜園で育てたスイカやジャガイモ、ミニトマトの収穫が出来ました。

利用者の皆様と職員が一緒になって収穫を楽しみました。

コロナ禍に思う

次長 小野田哲也

令和二年の年明けから私達の生活に影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症は、未だ終息の目途が立たず、制約を強いられた生活を余儀なくされている事と思います。我々の勤める福祉施設では、今までの普通が普通ではなくなり、利用者の方々には大変な不便をお掛けし、また、職員においても万全の感染症対策を業務のみならず、私生活においても協力を求め、感染症を持ち込まないよう常に気を使わなければならない日々を送っております。

そういった状況の中で利用者支援を推進するために、いったい何ができるのであろうか。楽しみにしていた外出もできず、地域の方との交流行事や活動もできず、家族にも会えない毎日は、私達が想像する以上に利用者様にとっては大変なストレスとなっているように感じます。

「新しい生活様式」をベースとしたサービス提供はどう展開するのか、感染状況を確認しながら手探りで行なっているというのが正直なところですが、こういった状況の中でも利用者様にとって安全、安心、快適な施設生活を提供することが、我々職員の使命であると考え、もうしばらくの間、試行錯誤を続け、見えない敵と戦わなければならないと覚悟をしております。

新型コロナウイルス感染症が落ち着いた時、皆様が笑顔でありますように願うばかりです。

藤川の里 新型コロナウイルス対策



藤川の里では、利用者様及び職員の健康管理（検温及び健康チェックシートの導入、都度の消毒等）を徹底しています。新型コロナウイルスの持込防止のため、緊急やむを得ない場合以外の、ご家族等の面会・外泊につきましては中止させていただいております。法人内で行なっている会議・研修につきましては、Zoomを利用したオンライン会議・研修を導入しており、慣れないオンライン会議・研修に戸惑いつつも、少しずつ定着しつつあります。その他、感染防止対策として詳細な取り決め等ございますが、障害者支援施設として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、『新しい生活様式』を実践しています。

〈相談支援専門員 鈴木〉

『愛厚藤川の里秋祭り』 の開催について

お知らせ

毎年7月に開催しておりました『愛厚藤川の里夏祭り』ですが、今年度より『愛厚藤川の里秋祭り』として、11月（今年度11月8日）に開催させていただくこととなりました。当初は、日頃お世話になっている地域の皆様を招いての開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、やむを得ず、施設入所利用者（短期入所利用者・日中一時支援利用者含む）と職員のみでの開催といたしました。来年度以降、地域の皆様を招いて『愛厚藤川の里秋祭り』の開催ができるよう願っています。



- ・ 第2週木曜日…クッキングクラブ
- ・ 第4週木曜日…理美容たんぽぽ
- ・ 11月 8日 愛厚藤川の里秋祭り
- ・ 12月25日 クリスマス会

行事紹介

新型コロナウイルスの終息が見えない中でも利用者の皆様に楽しい時間を過ごしていただけるよう、施設内で季節感のある行事・行事食を企画しました！！

『端午の節句』

5月、ご馳走で端午の節句を祝いました。ちらし寿司や可愛いこいのぼりの和菓子など豪華なメニューに喜ばれていました。グラウンドには毎年恒例、こいのぼりも飾りました！

〈指導員 中井〉



『お楽しみ会』

6月、毎月行っているクッキングクラブメンバーの力を借り、カレー作りを行いました。選抜メンバーが代表となり、ルーの調整、かき混ぜる、盛り付け等を行いました。作っている途中、とてもいい香りがしており、飛び入り体験する方もみえました。また、普段と違った環境で楽しんでいただくため、訓練棟で食事会を行いました。美味しくできたカレーライスやプリンに幸せいっぱい、お腹もいっぱい(^▽^)/

〈指導員 中井〉

『七夕会』

7月7日、七夕バイキングを開催しました。事前に利用者様が手作りした装飾品と願いを込めて飾った短冊に囲まれながら、ちらし寿司、から揚げ、星形ハンバーグ、星形ポテトといった豪華な料理を楽しみました。「おかわり」コールが多く、皆様大変喜ばれていました！

〈指導員 中井〉



『運動クラブ』

運動クラブの活動報告です。近頃は暑い日や雨の日が続き、運動クラブの活動は訓練棟を活用して室内活動を行っております。フライングディスク、玉入れ、輪投げ、トランポリン、ボーリング等の個々の利用者様に合わせた個別運動を中心に、ボッチャ等の利用者様と職員で協力して競技も行なっております。

職員それぞれが工夫を凝らし、椅子に座ったまま行うことができる活動や玉入れの籠を2つにすることでスペースを広く活用する、音楽に合わせて体を動かす等々、利用者様の個性に応じた環境整備に努めております。これまで運動に積極的に活動される利用者様や新しい活動に参加している利用者様を拝見できることは支援を行ううえでの楽しみの一つとなっております。



〈指導員 出店〉

職員ペン！

皆様、今年に入りコロナ禍の状況の中、自粛生活をどういった形でお過ごしでしょうか。私は、元々テレビを見るのが大好きドラマ、歌番組をよく見ています。その中でも韓国ドラマに強く魅かれ、日本のドラマと一味違った魅力のある作品がたくさんあります。韓国のドラマは、1話1話が長いのが特徴なのですが、1話見るとその次がまた見たくてという不思議な魅力があります。数ある韓国ドラマの中で私が1番好きなドラマは「トンイ」という歴史ドラマです。（全60話あります。）名匠イ・ビョンフン監督が脚本を手がけ、実際の史実に基づいたお話です。主演は日本の映画にも出演したことのあるハン・ヒョジュという笑顔がとってもキュートな女優さんです。主役のトンイ（ハン・ヒョジュ）が最下層の奴婢という境遇から王様の側室まで上り詰め、第21代王英祖（ヨンジョン）の母となった生涯を描いたものです。ドラマの中で権力争い、陰謀にも負けることなく自分の信じた「正しい心」で様々な困難に立ち向かっていく姿は涙なしでは見ることはできませんでした。どんなに辛くても「あきらめない気持ち、人を信じる心、物事を冷静に見極める力」には自分自身とても勉強になりました。最後にドラマのセリフの中で「貴き心」という言葉が出てくるのですが、それこそトンイが目指した「志し」だったと思います。どんなに境遇が貧しくても「貴き心」を持っていれば「貴き人」になれるという意味合いで、それは自分の志し次第で人生が豊かになっていくのではないかと思います。また、人に接する職業のみならず家族、友人などこれからも人の「絆」を大切にしていきたいと思う今日この頃です。皆様もコロナウイルスに負けないよう大変な時代ですが、共に頑張りましょう。〈ちなみに日本のドラマで最近1番感動したドラマは大泉洋主演の「ノーサイドゲーム」です。涙なしでは見れなくて、仕事の原動力にもなりました。〉

〈生活支援員 山下とみ子〉



サービス提供に関する取り組み

【氷山モデルを活用した演習を行いました】

氷山モデルとは、目に見えている氷山の一角は一部であり、水面下には大きな氷が潜んでいる...行動障害として表出されている課題にばかり目を向けるのではなく、その背景にある本人の特性や環境要因等を掘り下げ、本人を取り巻く全体像から具体的な対策を見出していくツールとなるものです。

本人が困っている背景を捉え、日々の生活の中で着目している本人の『ストレングス(できること・良い面・好きなこと)』を活かした支援を提供できるよう、職員一同、同じ方向性を持ち一貫した支援体制を整えていきたいと思っています。

〈指導員 中井〉

【虐待防止・身体拘束と権利擁護について学ぶ】

藤川の里では、利用者様に適切なサービスが提供できるよう権利擁護委員会を設置して、障がい者虐待防止に関する取り組みを進めています。

新型コロナウイルス対策を万全にした上で、令和2年9月10日と9月24日の2回に分けて、岡崎市障がい者虐待防止センターの講師をお招きして、藤川の里の職員を対象に職場研修（講義）をしていただきました。障害者支援施設に勤める職員として、障がい者虐待防止に関する理解を深めて、より良いサービスが提供できるよう取り組んでいきたいと考えております。

〈相談支援専門員 鈴木〉

《編集後記》 新型コロナウイルスの影響で思うような外出ができない状況が続いております。施設行事も規模を縮小せざるを得ないこともありますが、利用者の皆さんが少しでも楽しく生活できるよう支援していきます。

〈指導員 竹下〉

発行/ 社会福祉法人 愛知県厚生事業団

愛厚藤川の里
(障害者支援施設)

〒444-3523 岡崎市藤川町字堤ヶ入1-2

TEL (0564)48-6130

FAX (0564)48-8905

第116号

令和2年

10月吉日発行